

✻ 角高だより

ホームページ <http://kakuko.myswan.ne.jp/> eメール chief@kakuko.myswan.ne.jp



宮城県角田高等学校

〒981-1505

宮城県角田市角田字牛館 1

☎ 0224-63-3001

FAX 0224-63-0523

特集 「国際理解活動」

～世界で活躍する角高生を目指して～

角田高校は、開校以来本校の使命の一つとして「地域社会のみならず日本や世界で活躍する人材の育成」を掲げ、特に「国際理解教育」に力を入れています。その主な内容は、

①アメリカ合衆国デラウェア州ドーバー高校との姉妹校交流

3月に短期研修とホームステイに本校生が派遣されます。7月にはドーバー高校からの派遣団をホストファミリーとして受け入れ、本校の授業や球技大会に参加します。

現在は、校内選考で選ばれた派遣団10名が定期的に研修会を開いて猛勉強中です。

②角田市の姉妹都市グリーンフィールドからの訪問団を受け入れて、交流会を行います。

③その他 全校生を対象とした「国際理解活動講演会」と1年生対象の「国際理解活動特別授業」があります。今回は、この講演会と特別授業を紹介します。



第8回アメリカ短期研修派遣団(2015年3月12日~23日)

国際理解活動講演会

10月14日(水)

●この講演会は、国際的に活躍している日本人や日本で活躍する外国籍の方々をお招きし、様々なお話を通して本校生の国際理解を深めるものとして、毎年行われています。

今年は、シンガーソングライターでゴスペルアーティストのジョン・ルーカスさんに講師をお願いし、「異文化の中で生きる」の演題で御講演をいただきました。また、すばらしい歌声で2曲御披露くださいました。



○講演で学んだこと(生徒の感想より)

- ・外国語を覚えるには、プライドを捨てて、恥ずかしがらずに、とにかく使ったり言ってみたりすることが大切である。
- ・物事はネガティブに見ているとネガティブになり、ポジティブに見るとポジティブになる。
- ・外国で暮らすのは様々なチャンスが与えられる大きなメリットがあり、それは外国で暮らすデメリット以上に大きい。

○生徒の感想

- ・外国人と会ったり、話したりする機会があれば、自分と違うところを認めて相手の言葉や文化を尊重していこうと思った。
- ・一生懸命目的地向かって、地道に努力することが大切だと改めて思い、頑張ろうと思った。
- ・周りの人たちに感謝しなければと改めて思った。

国際理解活動特別授業

12月15日(火)

●国際人としての視野を広げることを目的に、1年生対象に特別授業を行い、アメリカ、ロシア、イラン、ベトナム、アルジェリア、中国、ネパール、インド、トルコ、ウズベキスタンから13名の留学生に来て頂きました。高校生活や若者の間で流行っているもの、将来の夢などについて英語で会話をしました。様々な国の文化や考え方を学び、日本のことをあらためて知る良い機会となりました。



○1年4組 馬場 晴輝 (北角田中 出身)

自分はあまり英語が得意ではないので、コミュニケーションがとれるか不安でしたが、積極的に話してみようと思い、声を出してみました。すると、自分の伝えたいことや聞きたいことが相手に伝わって、とても感激しました。

自分は3月のアメリカ短期研修に参加する予定なので、今回の授業を通して英語を話すことに少し自信を持つことができ、とても良い経験になりました。

○1年4組 菊池 万優 (船岡中 出身)

私が一番印象に残ったのは、外国人のコミュニケーション能力の高さです。日本語が得意でも不得意でも、まず自分から話そうとされることに感銘を受けました。また、英語の学習については、「恥ずかしがらずどんどん喋って」というアドバイスを頂き、学習への意欲が出ました。その他、学校のことや職業、文化についてたくさん聞くことができ、さらにこれらが国ごとに大きく違うことも衝撃でした。とても濃い学習ができ、感激しました。

創立 11 周年 開校記念講演会

旧角田高校と旧角田女子高校が統合され、新しい角田高校となり創立11周年を迎えました。統合記念式典が行われた11月11日には、毎年OB・OGによる開校記念講演会が開かれています。今年は、旧角田高校22回生の柴田町在住のエンジニア佐藤光雄さん（現在多く使われている「デジタル製版式孔版印刷機」を開発、趣味の「切り絵」でも有名）に「夢に向かって生きれば、人生は楽しい」の演題で御講演をいただきました。

>>>>>>>>>>>>>> <<<<<<<<<<<<<<<<<<<

講演の内容は、ご自身の角田高校時代の思い出から、進路選択、エンジニアとして心構えや信条について話されました。また、世界に視野を広げ、何事にも疑問を持ち、常にチャレンジ精神を忘れないことを様々な事例とスライドでわかりやすく解説されました。最後に、角高生に伝えたいこととして「①スマホより読書で多くの感動を、②失敗も含めて実体験が財産だ、③夢に向かって努力を続ければ必ず楽しい人生になる。」とのお話に、生徒達も力強く頷いていました。



【生徒の感想から】

- ・目標を持って生活することの大切さを知りました。
- ・「常に新しいことに挑戦する」の言葉が心に響いた。
- ・グローバル社会に向かう中、世界に視野を広げなければならないと感じさせられました。
- ・技術開発に成功したのも趣味の切り絵で高い評価を得るのも「人と違うこと」に挑戦することと結果を出すことの大切さを教わりました。

修学旅行(奈良・京都・大阪)

第2学年が、11/23～11/26の3泊4日の日程で、関西方面に修学旅行に行ってきました。心配された天気も何とかもって、所期の目的を達成することができました。これもひとえに、関係機関や保護者の方々のご理解とご協力のおかげです。ありがとうございました。

修学旅行の目的の一つは、訪問先の自然や文化、習俗や人情に触れることにあります。生徒の感想からもそれらに触れ、様々なことを感じている様子うかがい知ることができます。

- 【1日目 11/23(月)】学校出発(6:20) 仙台空港→伊丹空港 奈良公園・東大寺・清水寺(京都泊)
- 【2日目 11/24(火)】京都・班別自主研修 (34班に分かれて京都を徹底的に味わう)(京都泊)
- 【3日目 11/25(水)】クラス別研修～U S J～オフィシャルホテル(大阪泊)
- 【4日目 11/26(木)】大阪城～新大阪駅→東京駅→白石蔵王駅→解団式→学校着(17:40)

「班別自主研修」の感想文より ～国際理解編～

【自主研修の思い出】 2年3組 砂金梨花(金津中出身)

私達9班は「京都で女子力アップ!」をテーマに研修コースを考えました。しかし実際は、宮城県では見ることができない古い寺社仏閣、昔ながらの美しい街並み、日本とは思えなくなるほど沢山の外国人観光客など、初めての光景を目にして、驚きを隠せませんでした。

伏見稲荷大社では、ガイドブックから想像したものよりはるかに大きな鳥居が沢山並んでいました。中に入ると朱一色で、鳥居の隙間から差し込む光はとても幻想的でした。アメリカから来た観光客にこちらから話しかけ、一緒に写真を撮りました。自分の英語が相手に通じた喜びはとても大きく、「もっと英語を話せるようになりたい」と思いました。

次の地主神社には恋愛成就の石があり、挑戦しました。案内難しかったけれど何とかたどり着いた時、周りの観光客の方々から拍手を頂いて嬉しかったです。多くの貴重な体験ができた、思い出深い修学旅行となりました。

【いっぱい学んだ修学旅行】 2年5組 櫻井崇史(槻木中出身)

私は自主研修の間、京都の人と交流する機会が数回ありました。伏見稲荷大社に参拝に行った際、焼きそばの屋台が出ていました。そこに外国人の観光客が近づき、何かを話していました。「ノー、ポーク!」(豚肉は使っていないよ)と屋台のおじさんは英語で流ちょうに対話しています。これはきっと何気ない小さな出来事なのですが、私はとても感心しました。京都は有名な観光地だから、英語を話す人が多いのはわかりますが、京都人の「質」の高さを強く感じました。

また、バスで席を譲ろうとしたら「私の方が元気だから」と、いっぱい歩いて疲れている私達に逆に席を譲ってくれた関西のおばさん。情けないけど、助かったという思いもありました。その際に「この二年くらいで、韓国や中国の観光客が急増している」と教えて頂きました。そういえば伏見稲荷大社は、「外国人に人気のスポットランキング」で二年連続第一位だそうです。いろんなところで「国際社会」に向かっている現実を肌で感じるすることができました。



金閣寺



清水寺



道頓堀にて



USJにて